

調査委員会における調査研究報告書

教科名（外国語）

No. 1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（2）	発行者（開隆堂） 発行者番号（9）	発行者（学校図書） 発行者番号（11）
1 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕〔発表〕」「書くこと」の4技能5領域がバランスよく配置されている。 ○ 単語カードの他に、「書く」領域を中心とした別冊「Picture Dictionary」が付属されている。 ○ 発展的な内容として、「Over the horizon」が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕〔発表〕」「書くこと」の4技能5領域がバランスよく配置されている。 ○ 単語カードの他に、巻末の付録「中学校へつなげよう」「発音クリニック」「単語リスト」が付属されている。 ○ 全体的に中学校での学習が意識された内容になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕〔発表〕」「書くこと」の4技能5領域がバランスよく配置されている。 ○ 単語カードが付属されている。 ○ 単元の数や1単元で扱う内容の数が多。
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit を3つのテーマに分けて、テーマを意識した構成になっている。 ○ 「We can!（文部科学省）」と似た構成となっている。 ○ 外国の文化に触れている分量が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、年間2回「Project」が設定されていて、既習事項を生かした活動ができる構成になっている。 ○ 「We can!（文部科学省）」と似た構成となっている。 ○ 外国の文化に触れている。 ○ 1単位時間の指導の流れを意識した活動の構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間2回「Project Time」が設定されていて復習する時間が設けられている。 ○ 外国の文化に触れている。 ○ 各単元の最後に、コミュニケーションの活動が設定されており、単元の目標を見通すことができるようになっている。
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語での説明があり、場所の名前などがカタカナで表記されている。 ○ それぞれの活動の説明が端的に示されている。 ○ 単語や英文とともにその単語の絵が記載されており、児童にとって書かれている内容が想像しやすく表記されている。 ○ フォントは明瞭で見やすく、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ ページ数は数字で表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語での説明があり、場所の名前などがカタカナで表記されている。 ○ 各 unit における活動の説明が簡潔に示されている。 ○ 単語と文字とイラストが併記されている。 ○ 『「思い出絵本」を完成させよう』等の活動の説明が文字だけでなく図でも例示されている。 ○ フォントは明瞭で見やすいものを用いている。 ○ ページ数は数字と英語が併記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語での説明があり、場所の名前などがカタカナで表記されている。 ○ 活動の説明が詳しく示されている。 ○ 単語とそれに対応するイラストが併記されている。 ○ 活動の順序が示されている。 ○ フォントは明瞭で見やすく、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ ページ数は数字で表記されている。
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末のカードには切り取り線があり、ミシン目加工がされている。 ○ アルファベットの大文字と小文字のカードに1本の線がある。 ○ シールはない。 ○ QRコードがある ○ 児童の振り返りのためのCAN Do list はない。 ○ 巻末に書くユニットで使うA4で2枚のコミュニケーションカードがある。 ○ 書く、聞く、ビンゴ等のワークシートがA4で10枚ついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末のカードには切り取り線がある。 ○ アルファベットの大文字と小文字のカードに1本の線がある。 ○ シールはない。 ○ QRコードがある ○ 児童の振り返りのためのCAN Do マップが裏表紙にある。 ○ 見開きA3サイズの大きさである。 ○ キーボードの絵があり、タッチの練習ができるようになっている。 ○ 教科書で学んだことリストがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末のカードはない。 ○ 単語カードが小さいがたくさんある。 ○ シールはない。 ○ QRコードがある ○ 児童の振り返りのためのCAN Do list はない。 ○ 見開きA3サイズの大きさである。 ○ 4線を使った練習シートが見開き1枚ある。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（外国語）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（三省堂） 発行者番号（15）	発行者（教育出版） 発行者番号（17）	発行者（光村図書） 発行者番号（38）
1 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕〔発表〕」「書くこと」の4技能5領域がバランスよく配置されている。 ○ 単語カードが付属されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕〔発表〕」「書くこと」の4技能5領域がバランスよく配置されている。 ○ 単語カードの他に、ワークシートが付属されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕〔発表〕」「書くこと」の4技能5領域がバランスよく配置されている。 ○ 単語カードが付属されている。 ○ 異文化理解を深めるため、「世界の友達」が設定されている。
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の段階を「Hop」, 「Step」, 「Jump」という段階に分けて構成している。 ○ 「Hi, friends! (文部科学省)」と似た構成となっている。 ○ 外国の文化に触れている。 ○ 「話すこと」について、「Listen & talk」, 「Write and Talk」という構成になっている。 ○ story で世界の名作が扱われている分量が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の構成が単元のまとめにつながるように指導の流れが統一されている。 ○ 「We can! (文部科学省)」と似た構成となっている。 ○ 外国の文化に触れている。 ○ 単元の終わりに、文字や英語のルールなどに気付く活動が設定されている。 ○ 紹介や発表の活動で書く活動を意識しているものが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit9までのほかに年間3回「Review」が設定されている。 ○ 各単元「Hop」, 「Step1」, 「Step2」, 「jump」の構成になっている。 ○ 外国の文化に触れている。 ○ 映像を見る活動が多く設定されている。 ○ 目次にその単元のゴールが書かれている。
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語での説明があり、場所の名前などがカタカナで表記されている。 ○ 各 unit で行う活動の説明が端的に示されている。 ○ 単語と文字とイラストが併記されている。 ○ 英語の文字のフォントはゴシック体を用いている。 ○ アルファベットカードの枠線の形や色を発音と対応させている。 ○ ページ数は数字で表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語での説明があり、場所の名前などがカタカナで表記されている。 ○ 各 unit の活動の説明が端的に示されている。 ○ イラストと共に写真が多く使われている。 ○ フォントは明瞭で見やすいものを用いている。 ○ ゲームのルールが記載されている。 ○ ページ数は数字で表記されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語での説明があり、場所の名前などがカタカナで表記されている。 ○ 活動の説明は具体的に示されている。 ○ 単語と文字とイラストが併記されている。 ○ 英語はオリジナルの書体、日本語はUD書体を用いている。 ○ ページ数は数字と英語が併記されている。
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末のカードには切り取り線がある。 ○ アルファベットの大文字と小文字のカードに1本の線がある。 ○ シールはない。 ○ QRコードがある ○ 児童の振り返りのためのCAN Do list がある。 ○ キーボードの絵があり、タッチの練習ができるようになっている。 ○ Word&Phrases がカテゴリー別にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末のカードにはミシン目加工がされている。 ○ アルファベットの大文字と小文字のカードに4本の線がある。 ○ 活動用のシールが付属されている。 ○ QRコードがある ○ 児童の振り返りのためのCAN Do list はない。 ○ レッスンあった専用ワークシートが4枚ついている。 ○ My Word Bank がカテゴリー別にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末のカードには切り取り線がある。 ○ アルファベットの大文字と小文字のカードに4本の線がある。 ○ 活動用と振り返り用のシールがある。 ○ QRコードがある ○ 児童の振り返りのためのCAN Do list がある。 ○ ペンマンシップノートという水性ペンで書くシートがある。 ○ 活動用及びCAN Do シールが付属されている。

調査委員会における調査研究報告書

教科名（外国語）

No. 3

調査研究の観点	所 見		
	発行者（新興出版社啓林館） 発行者番号（61）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕〔発表〕」「書くこと」の4技能5領域がバランスよく配置されている。 ○ 単語カードが付属されている。 		
2 構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8つのUnitの他に、年間3回の「Review」が設定されている。 ○ 「We can!（文部科学省）」と似た構成となっている。 ○ 外国の文化に触れている。 ○ 単元の最後に、「話すこと〔やり取り〕」の発表の活動が設定されている。 ○ Unitのパートごとに学習のゴールが記載されている。 		
3 表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語での説明があり、場所の名前などがカタカナで表記されている。 ○ 活動の説明は内容が具体的に示されている。 ○ 誌面にはイラストだけでなく、写真も多く使われている。 ○ UDデジタル教科書体と新欧文書体を用いている。 ○ ページ数は数字と英語が併記されている。 		
4 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末のカードにはミシン目加工がされている。 ○ アルファベットの大文字と小文字のカードに1本の線がある。 ○ シールはない。 ○ QRコードがある ○ 児童の振り返りのためのCAN Do list がある。 ○ Word List がカテゴリー別にある。 		